

市民アンケートの実施結果について

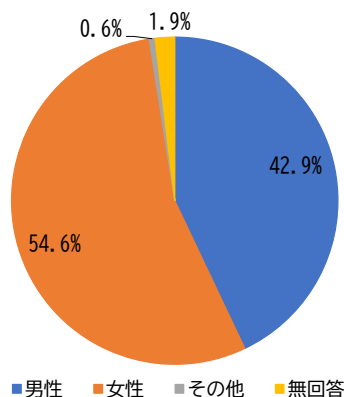
市民アンケートの実施結果について

調査概要

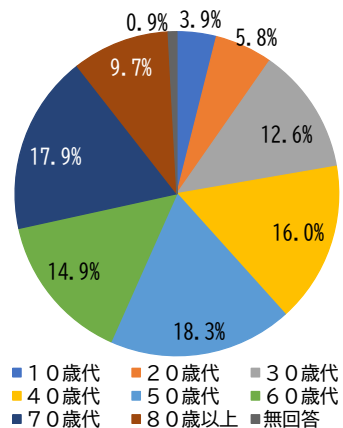
調査対象者	16歳以上の市民3,000人
配布数	3,000件
回答数	1,041件 ※回収率34.7%
調査方法	郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
調査時期	令和5年11月22日（水）～令和5年12月8日（金）

回答者の属性

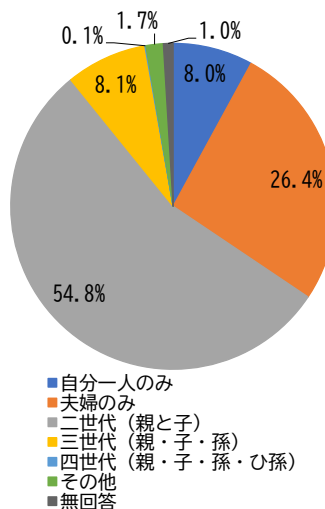
【性別】



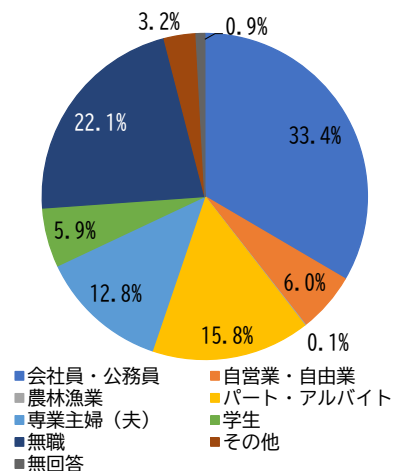
【年齢】



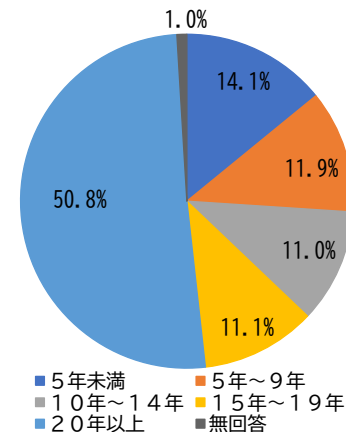
【家族構成】



【職業】

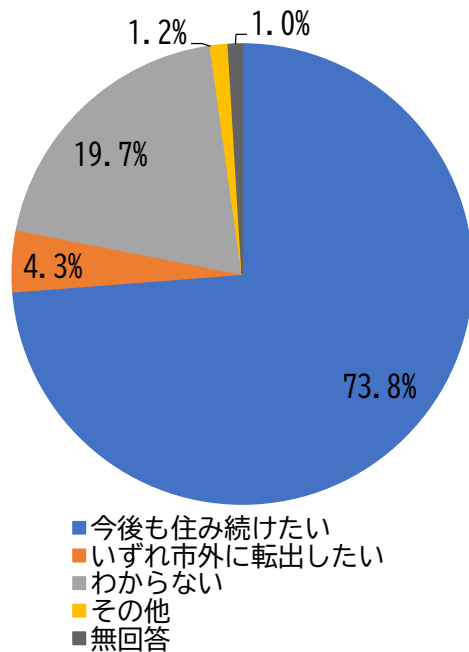


【居住年数】



定住意向について

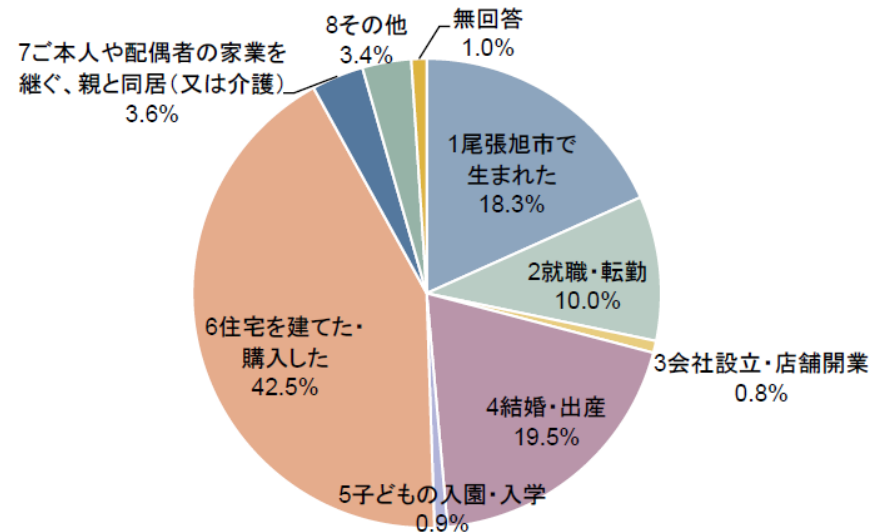
今後も尾張旭市に住み続けたいですか？（1つに○）



定住意向は、7割以上の方が「今後も住み続けたい」と回答している。

（参考）総合計画策定に係る市民アンケート調査

「居住したきっかけ」



居住したきっかけは、「住宅を建てた・購入した」が約4割、「結婚・出産」が約2割であり、ファミリー層に選ばれている。

定住意向について

「いずれ市外に転出したい」と答えた方の理由（抜粋）

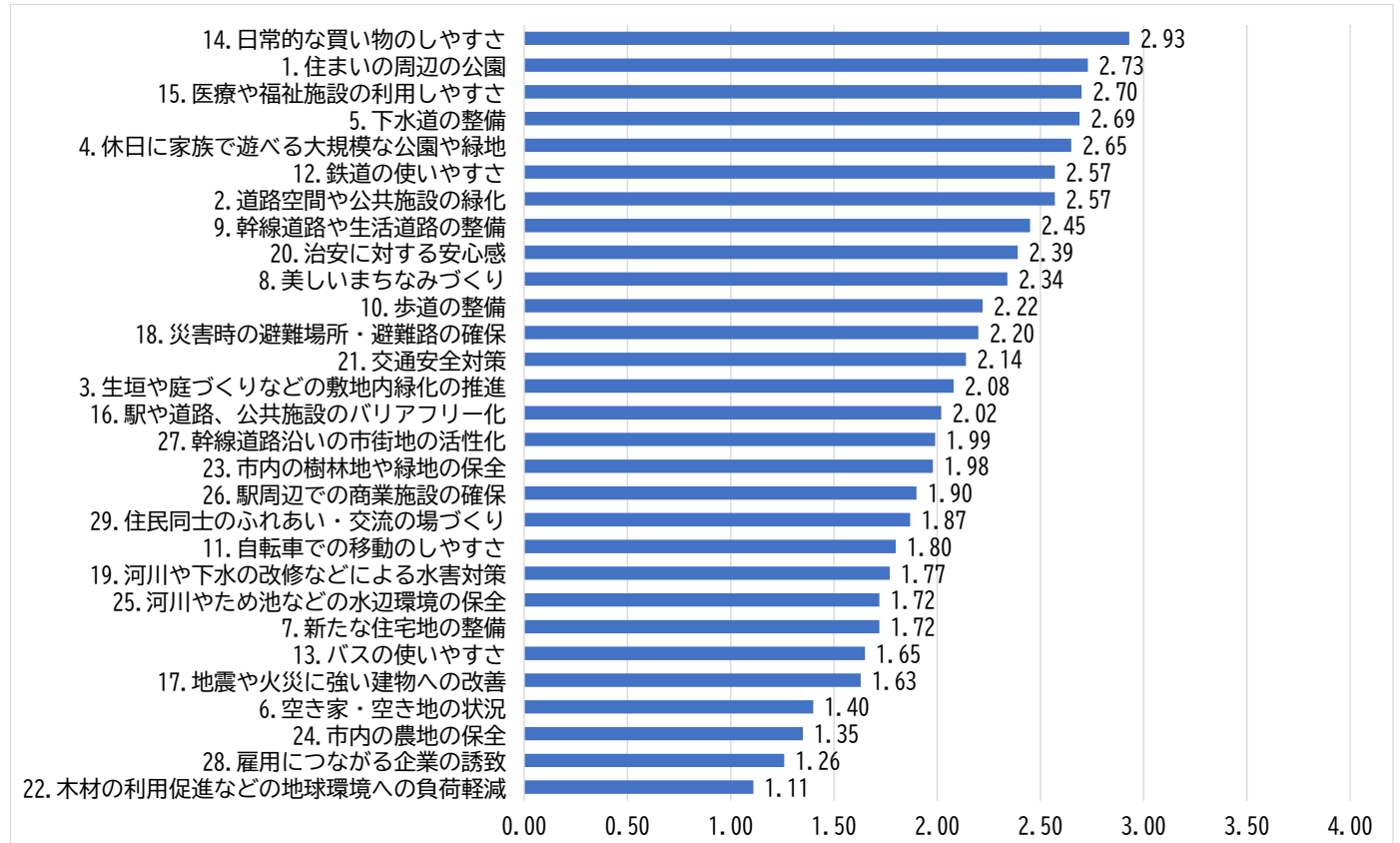
回答内容
名古屋市の方が市民サービスがよいから
買い物に行くのが不自由（近くにない）、車がないと行けない
名古屋市に住み、敬老パスをもらいたい。
自動車が乗れなくなると不便だから
下水道整備の不足、老人福祉の脆弱さ
車がないと不便だから、高齢になると不安になる。
名古屋市に居住したい。無料パスで市内を回りたい。
公共交通機関が少なく老後に住みにくい、大型ショッピングモールがない。魅力的な環境でない。

「いずれ市外に転出したい」と答えた方の主な理由を分類すると、名古屋市の市民サービスに魅力を感じている旨の回答や、市内での生活に不便を感じている旨の回答が多くなっている。

これまでのまちづくりの評価と今後への期待（市全体）

「現在の満足度」と「今後の重要度」について、現在の気持ちに最も近い番号を1つ選択

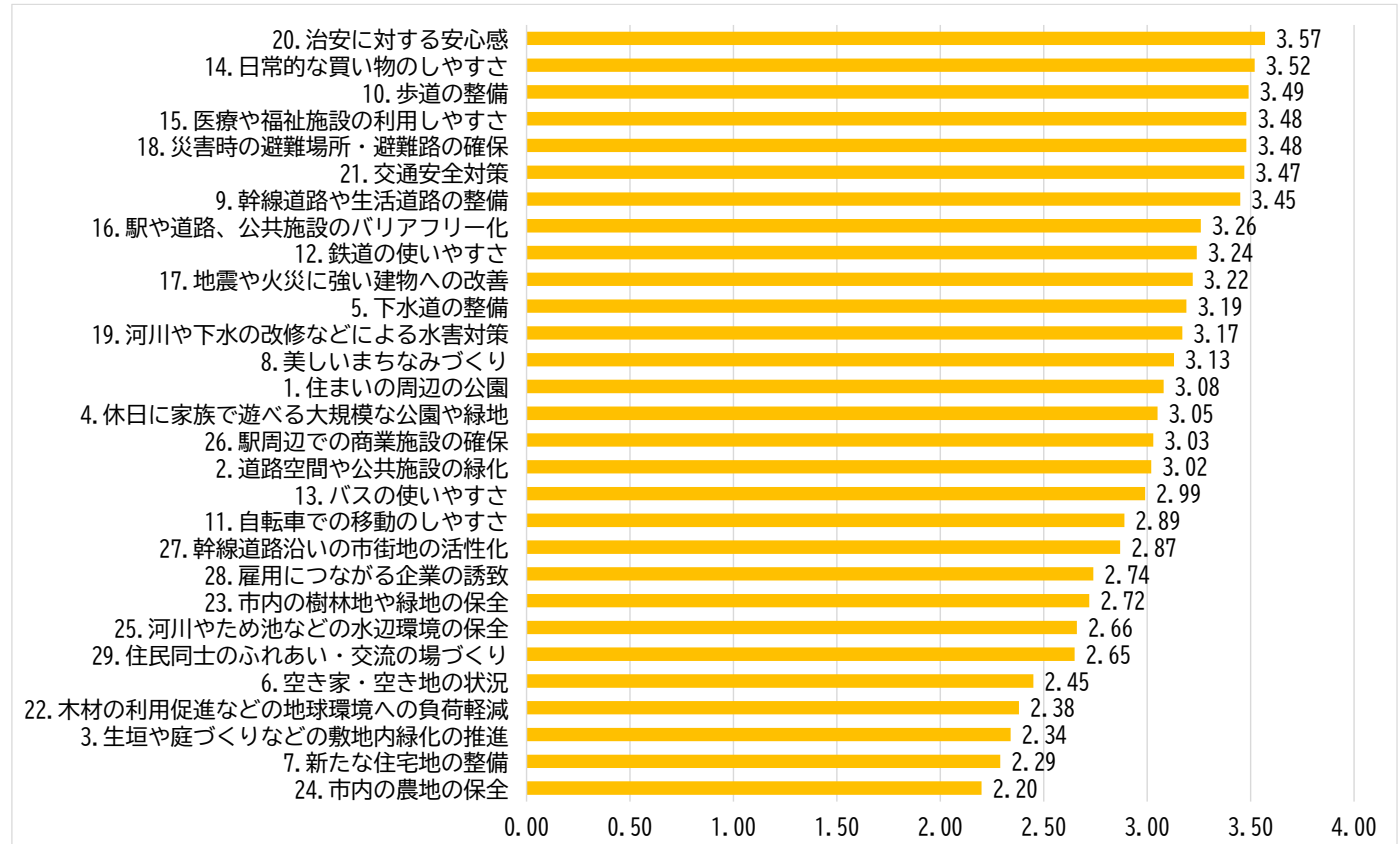
現在の満足度



現在の満足度は、「日常的な買い物のしやすさ」が最も高く、次いで「住まいの周辺の公園」が高くなっている。

これまでのまちづくりの評価と今後への期待（市全体）

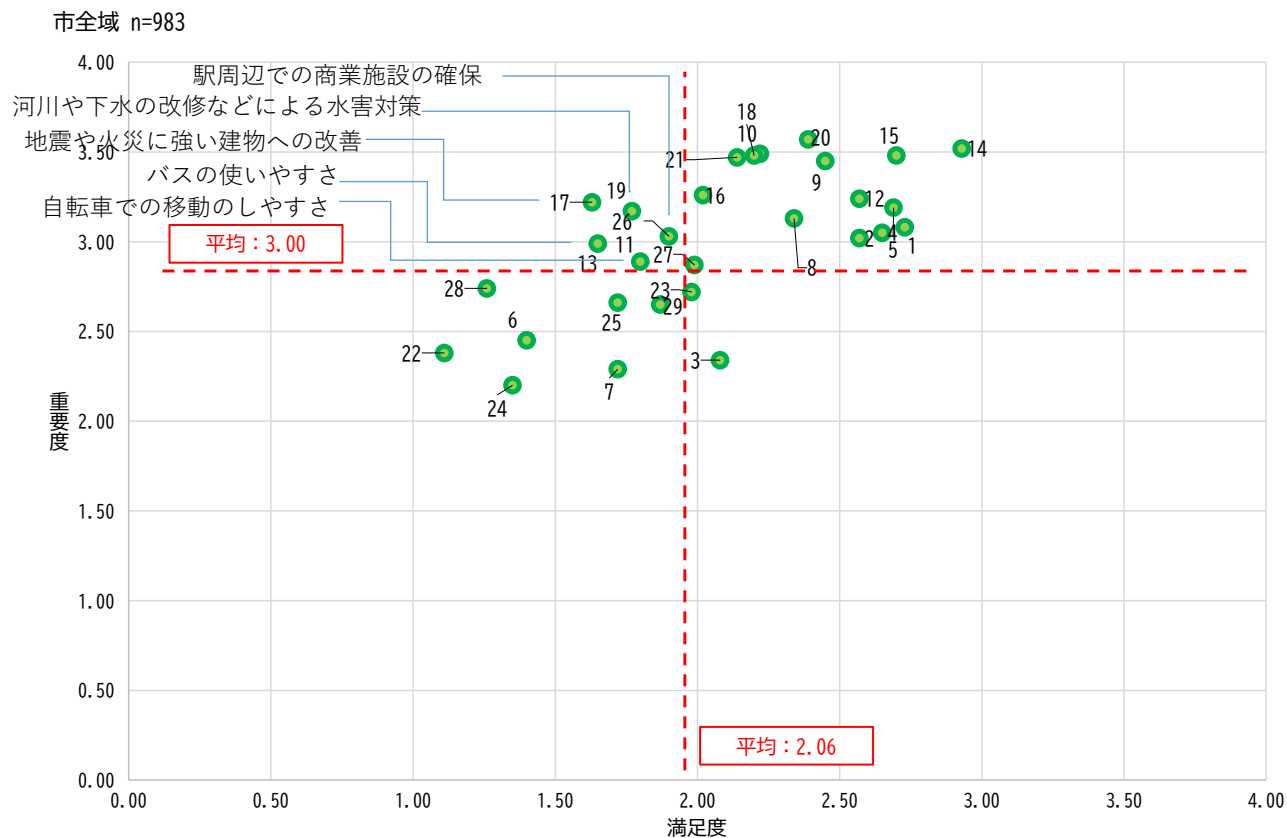
今後の重要度



今後の重要度は、「治安に対する安心感」が最も高く、次いで「日常的な買い物のしやすさ」が高くなっている。

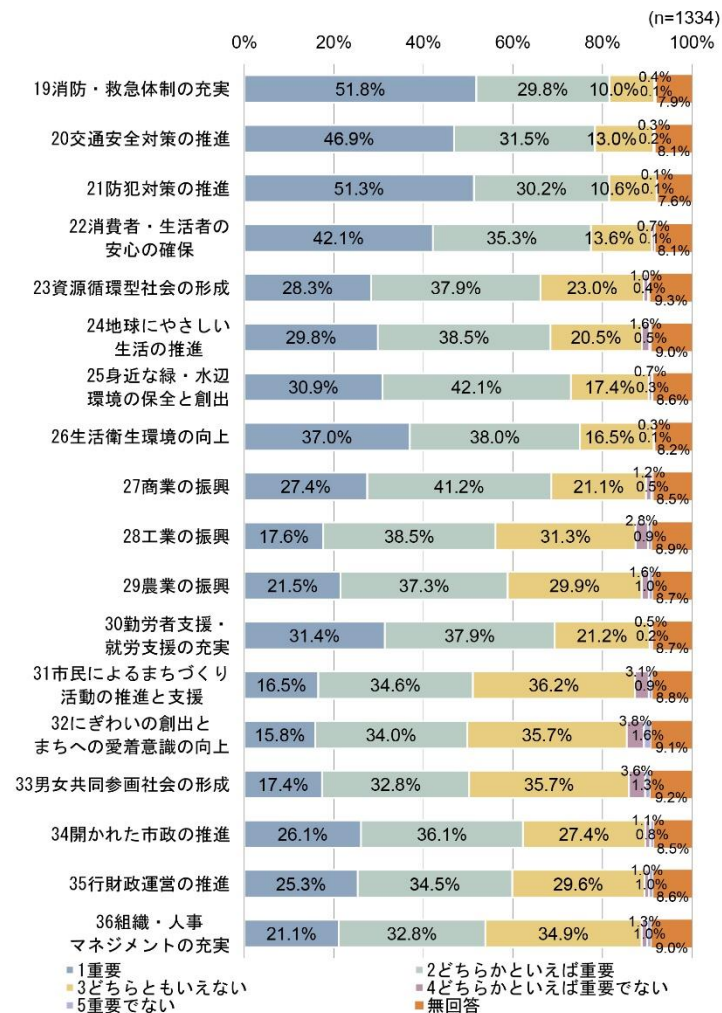
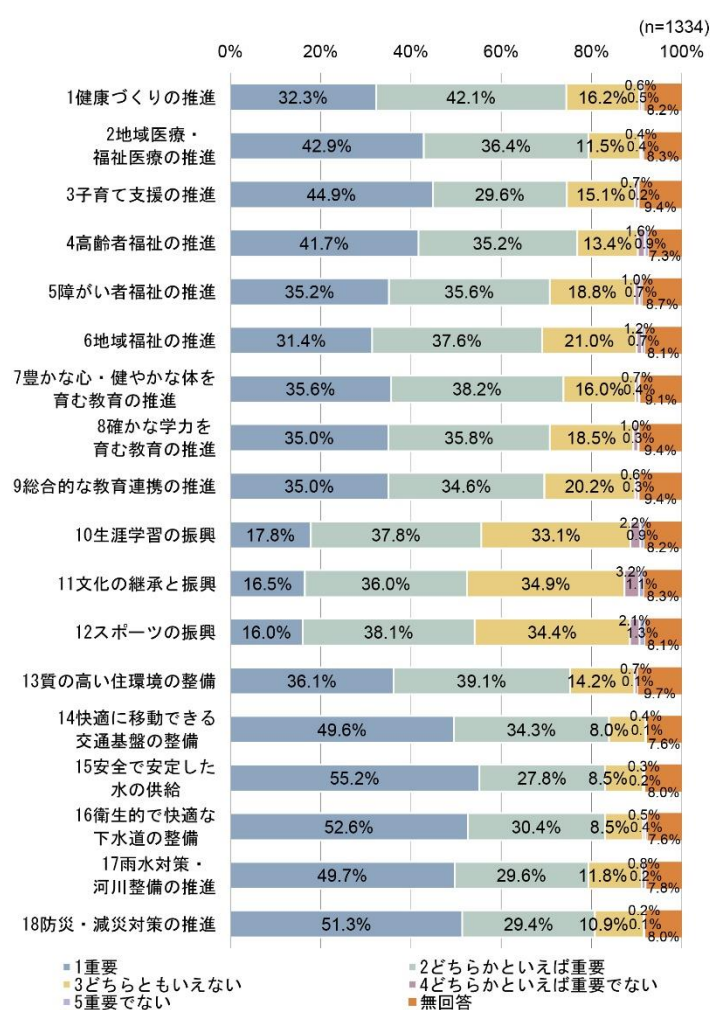
これまでのまちづくりの評価と今後への期待（市全体）

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目



- ・重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は、課題（より期待される項目）と捉えることができる。
- ・「自転車での移動のしやすさ」、「バスの使いやすさ」、「地震や火災に強い建物への改善」、「河川や下水の改修などによる水害対策」、「駅周辺での商業施設の確保」が挙げられる。

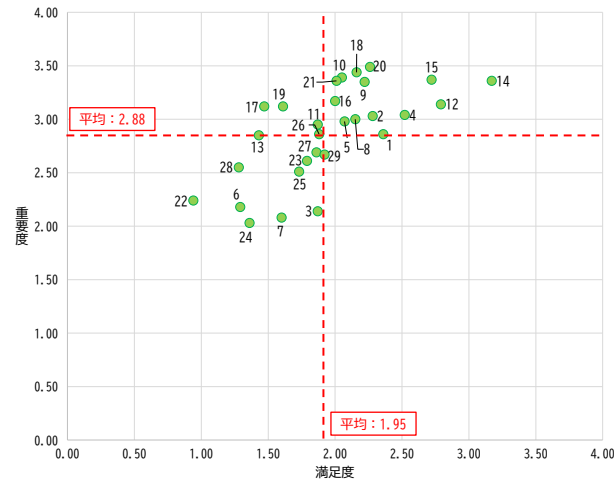
(参考) 総合計画策定に係る市民アンケート調査「まちづくりに対する今後の重要度」



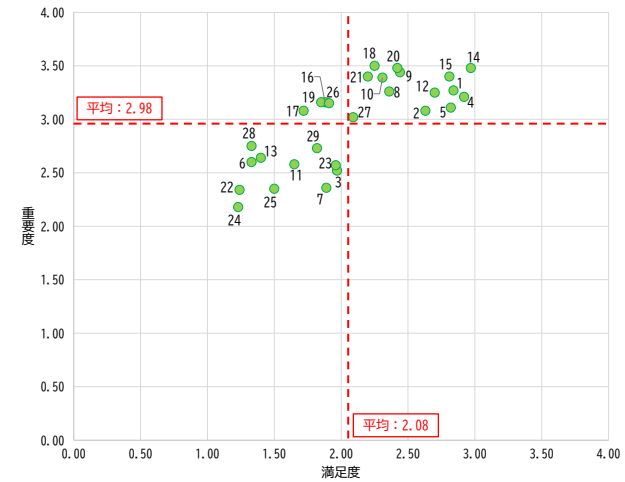
今後の重要度は「14快適に移動ができる交通基盤の整備」が最も高く、次いで「15安全で安定した水の供給」、「16衛生的で快適な下水道の整備」が高くなっている。

これまでのまちづくりの評価と今後への期待（小学校区別）

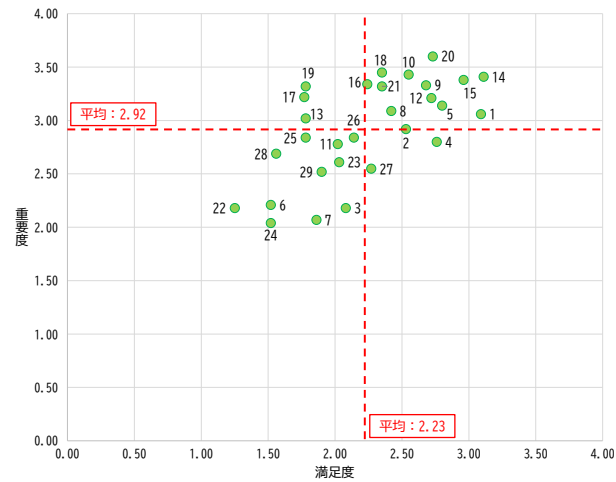
旭小学校 n=141



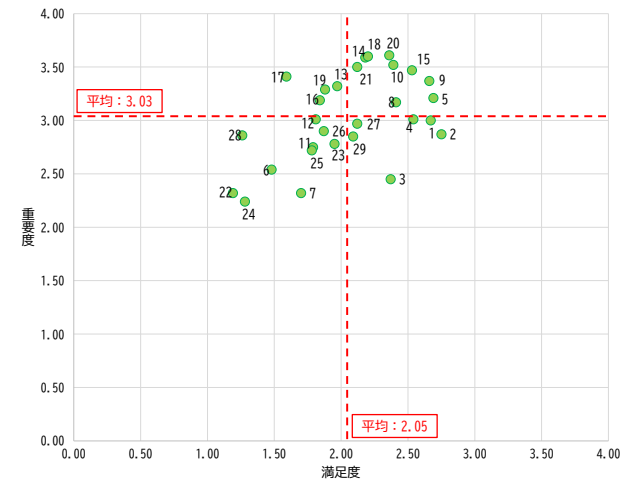
東栄小学校 n=107



浜川小学校 n=76

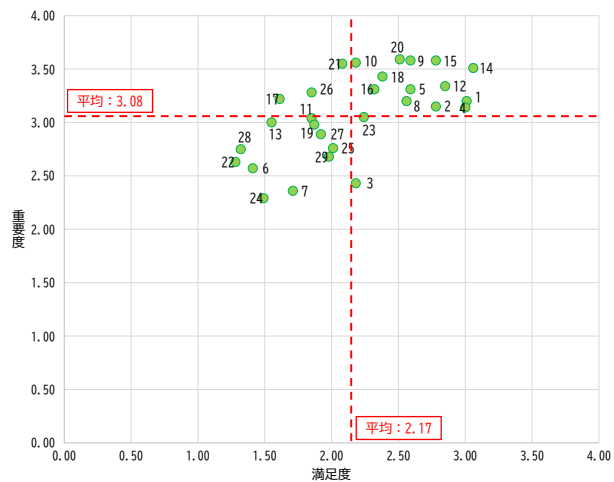


本地原小学校 n=127

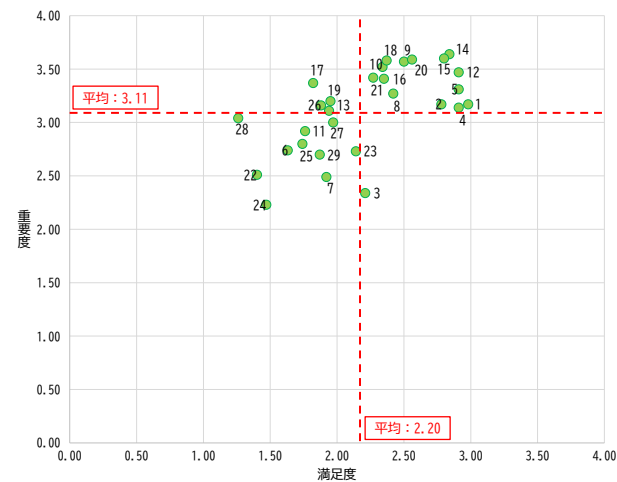


これまでのまちづくりの評価と今後への期待（小学校区別）

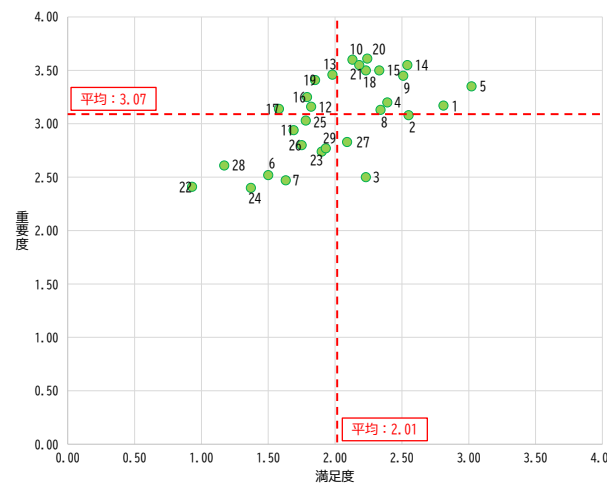
城山小学校 n=122



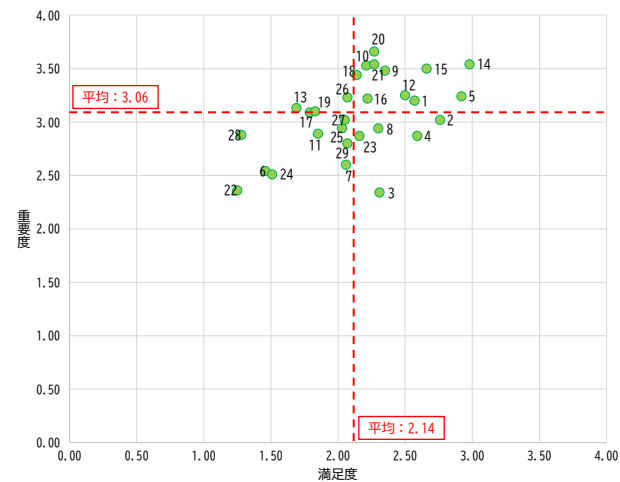
白鳳小学校 n=135



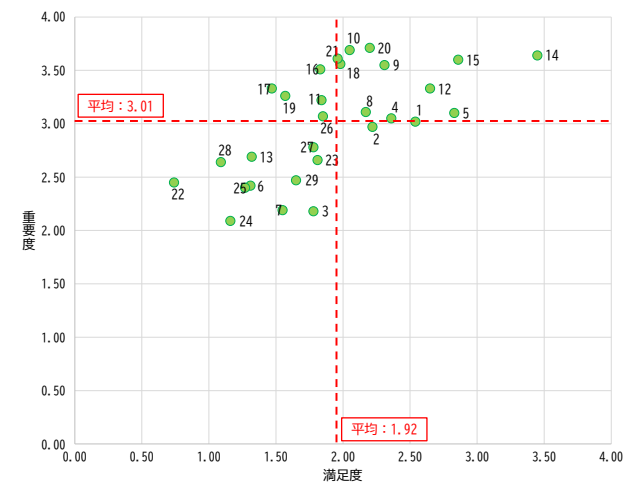
瑞鳳小学校 n=74



旭丘小学校 n=79



三郷小学校 n=122



これまでのまちづくりの評価と今後への期待（小学校区別）

重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目

項目	旭	東栄	渋川	本地原	城山	白鳳	瑞鳳	旭丘	三郷
1. 住まいの周辺の公園									
2. 道路空間や公共施設の緑化									
3. 生垣や庭づくりなどの敷地内緑化の推進									
4. 休日に家族で遊べる大規模な公園や緑地									
5. 下水道の整備									
6. 空き家・空き地の状況									
7. 新たな住宅地の整備									
8. 美しいまちなみづくり									
9. 幹線道路や生活道路の整備									
10. 歩道の整備									
11. 自転車での移動のしやすさ	●								●
12. 鉄道の使いやすさ							●		
13. バスの使いやすさ			●	●		●	●	●	
14. 日常的な買い物のしやすさ									
15. 医療や福祉施設の利用しやすさ									
16. 駅や道路、公共施設のバリアフリー化		●		●			●		●
17. 地震や火災に強い建物への改善	●	●	●	●	●	●	●		●
18. 災害時の避難場所・避難路の確保									
19. 河川や下水の改修などによる水害対策	●	●	●	●		●	●	●	●
20. 治安に対する安心感									
21. 交通安全対策					●				
22. 木材の利用促進などの地球環境への負荷軽減									
23. 市内の樹林地や緑地の保全									
24. 市内の農地の保全									
25. 河川やため池などの水辺環境の保全									
26. 駅周辺での商業施設の確保		●			●	●		●	●
27. 幹線道路沿いの市街地の活性化									
28. 雇用につながる企業の誘致									
29. 住民同士のふれあい・交流の場づくり									

重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、地域の課題（地域がより期待している項目）と捉えることができる。

暮らしの質を高めるために必要なこと（市全体）

暮らしの質を高めるために必要な項目を、3つ選択

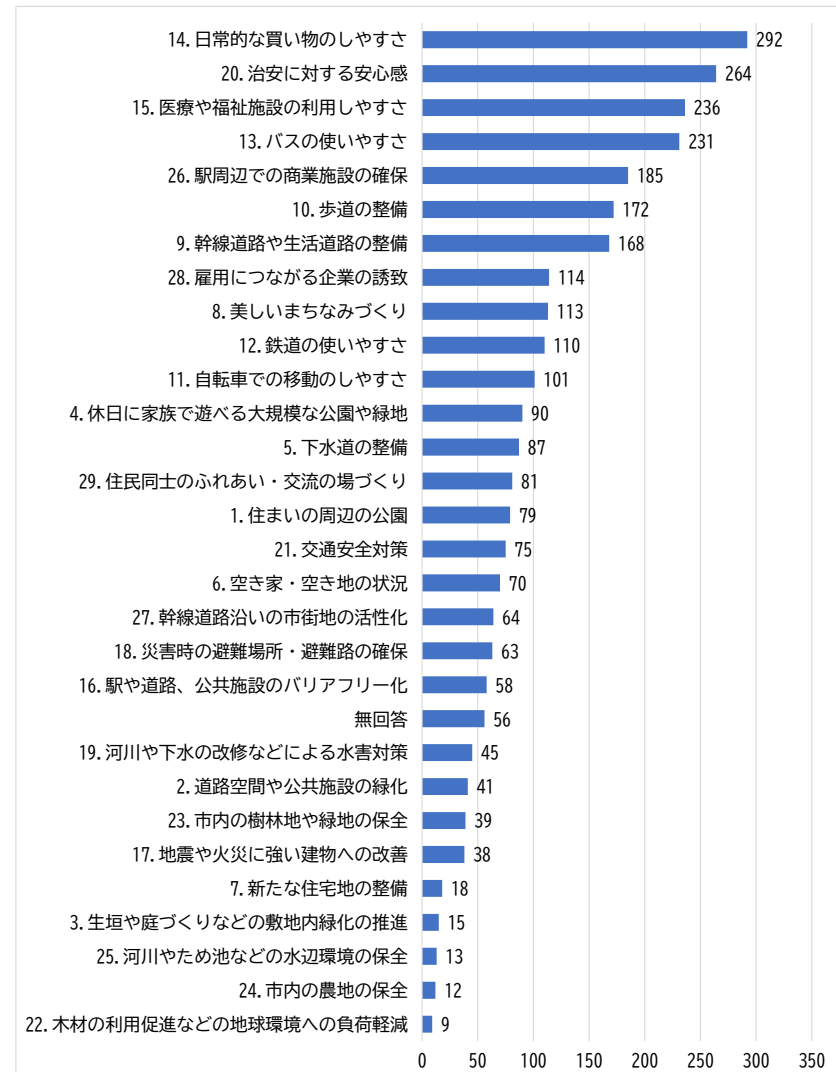
・「日常的な買い物のしやすさ」が最も多く、次いで「治安に対する安心感」が多くなっている。

・「日常的な買い物のしやすさ」や「医療や福祉施設の利用しやすさ」は、現在の満足度評価（P.5）で高い評価を得ている。

➡ 本市の「強み」と捉え、強みを伸ばす事で、質の向上が図られる。

・「バスの使いやすさ」や「駅周辺での商業施設の確保」は、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目（P.7）で抽出されている。

➡ 本市の「弱み」と捉え、弱みを改善する事で、質の向上が図られる。



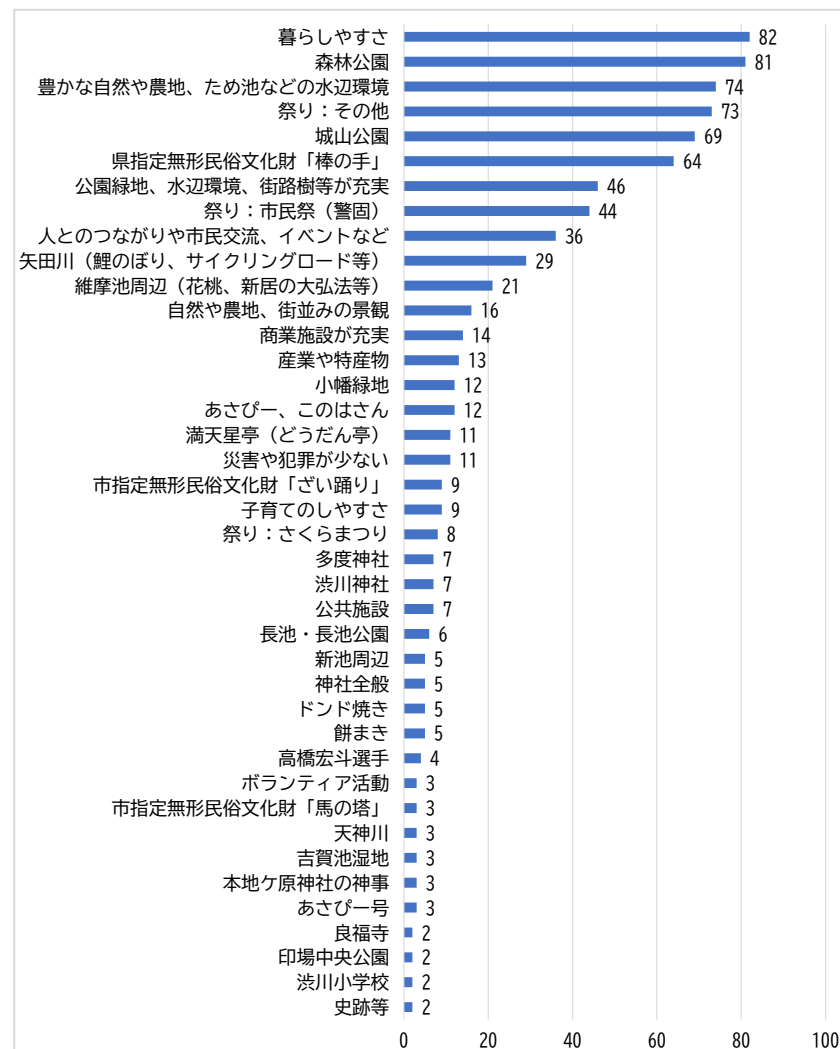
地域の魅力や地域への愛着（市全体）

「魅力」や「愛着」「誇り」を感じること・もの、「今後も守っていききたい伝統」など（自由記述）

「暮らしやすさ」に関する記載が最も多い。

「森林公園」、「豊かな自然や農地、ため池などの水辺環境」、「城山公園」等の、みどりや水辺に関する記載が上位に多く含まれている。

「棒の手」や「祭り」、「人とのつながりや市民交流・イベント」等、オープンスペースを活用して行われる文化活動やイベントに関する記載が上位に含まれている。

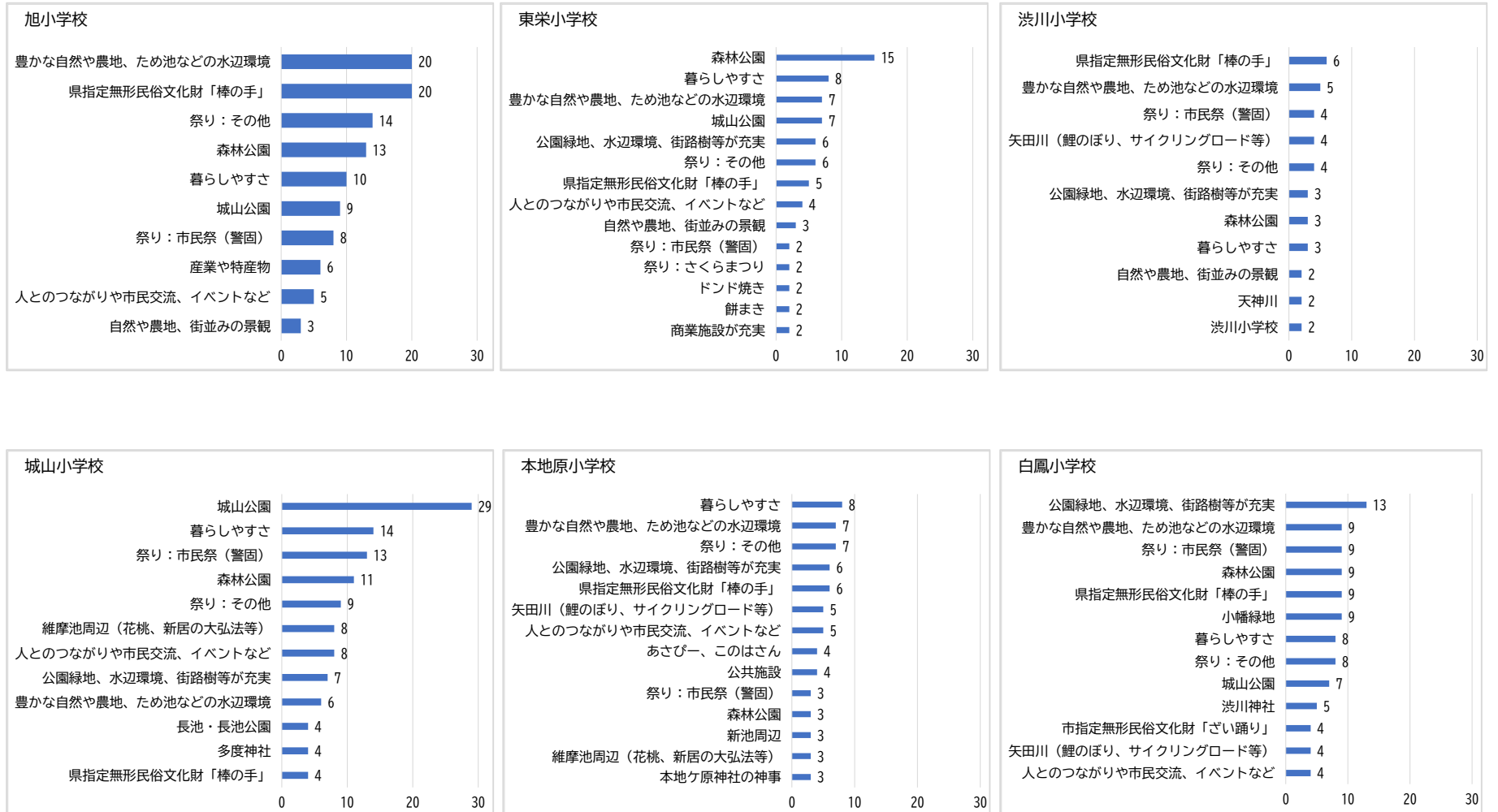


(参考) 総合計画策定に係る市民アンケート調査「生活の一番の楽しみ・好きなところ」

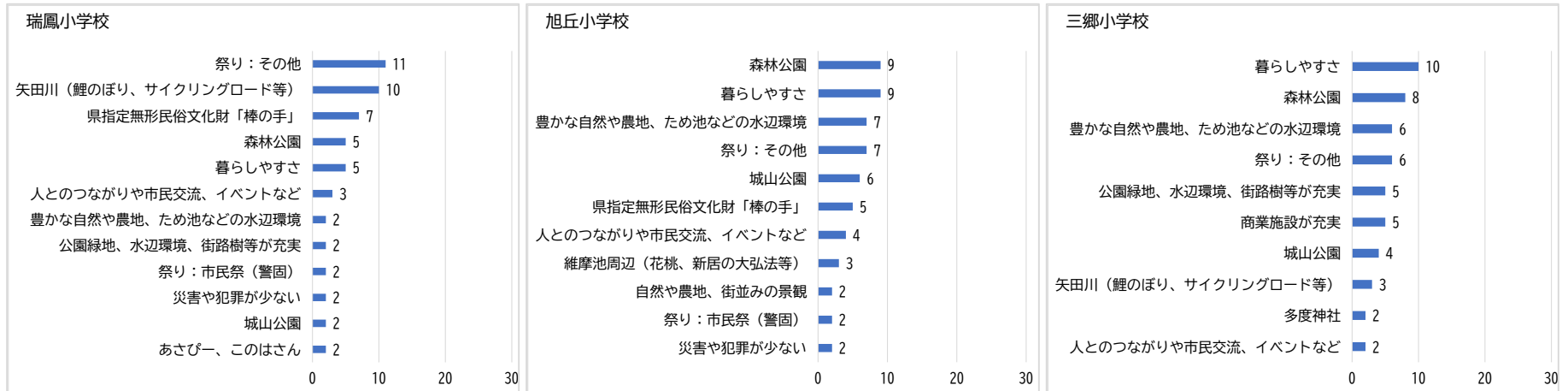
森林公園【156件】
桜【97件】
城山さくらまつり【88件】
維摩池【82件】
城山公園【54件】
公園【41件】
市民祭【40件】
自治会の行事・祭り【40件】
祭り（尾張旭たのしい夏まつり・農業まつり・健康まつり）【37件】
暮らしやすい【36件】
散歩【30件】
スカイワード【27件】
田舎過ぎない・落ち着いている【27件】
名古屋・栄までのアクセス【27件】
緑が多い【24件】
街並み【21件】
河川敷・矢田川【17件】
買い物【15件】
棒の手【14件】
コスモス【14件】
田んぼの風景・田んぼアート【13件】
喫茶店・カフェ【13件】

総合計画策定に係る市民アンケート調査においては、「森林公園」、「桜」、「維摩池」、「城山公園」等の、自然や緑に関する回答が多い。

地域の魅力や地域への愛着（小学校区別）



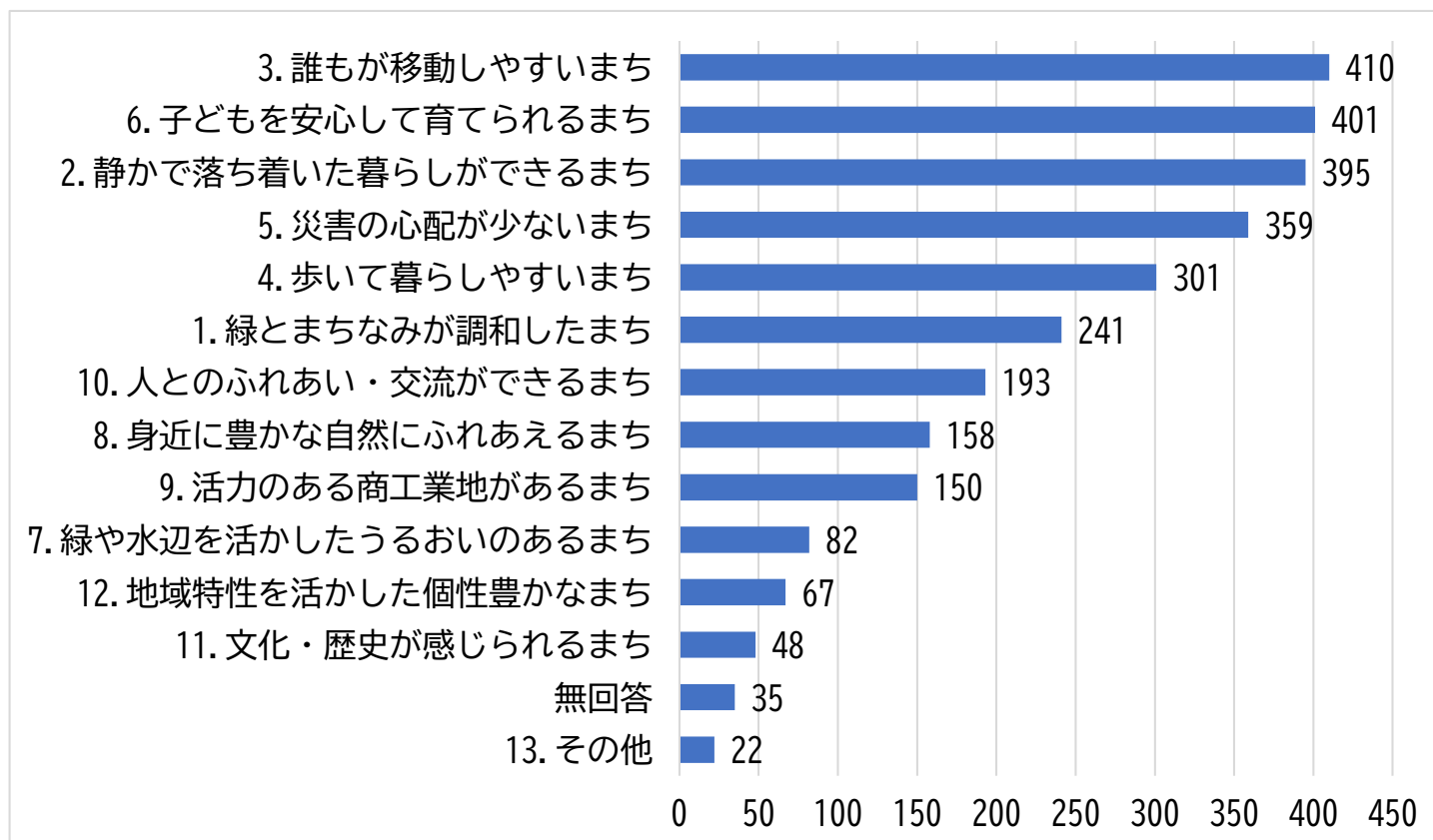
地域の魅力や地域への愛着（小学校区別）



- ・ 各地域は、その地域周辺の固有の地域資源に愛着を持っていることがわかる。
- ・ 「暮らしやすさ」を回答する地域も多い。

10～20年後における、地域の将来の姿（市全体）

10～20年後に、お住まいの地域がどのような地域になればよいと思うか（3つまで選択）

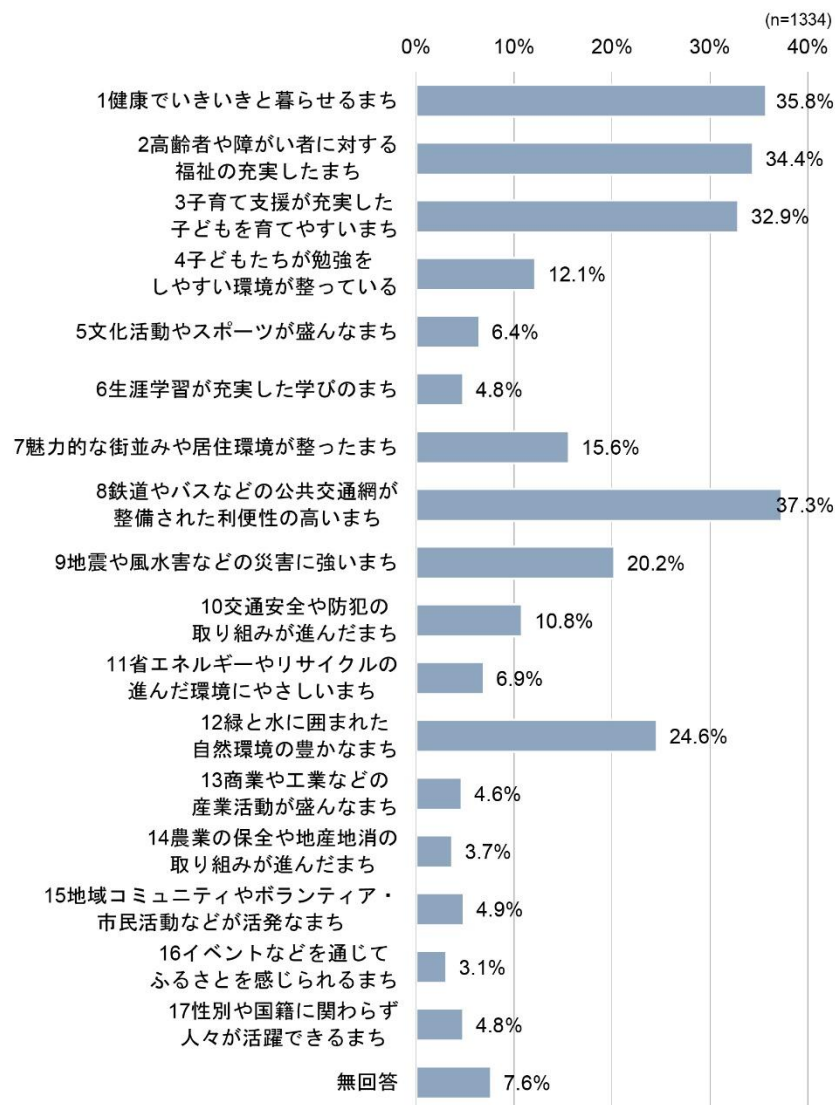


「誰もが移動しやすいまち」が最も多く、次いで「子どもを安心して育てられるまち」「静かで落ち着いた暮らしができるまち」が多くなっている。

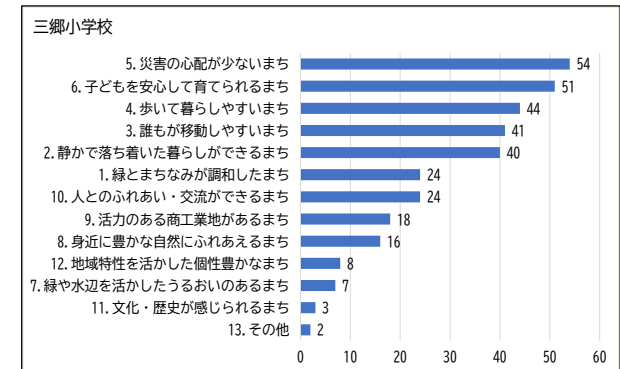
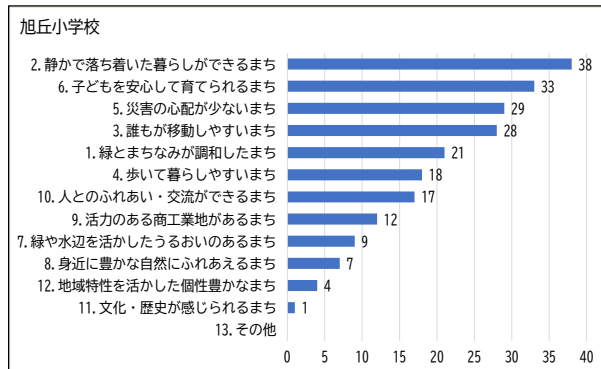
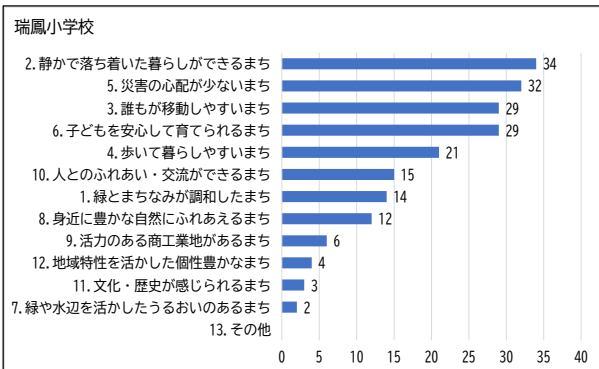
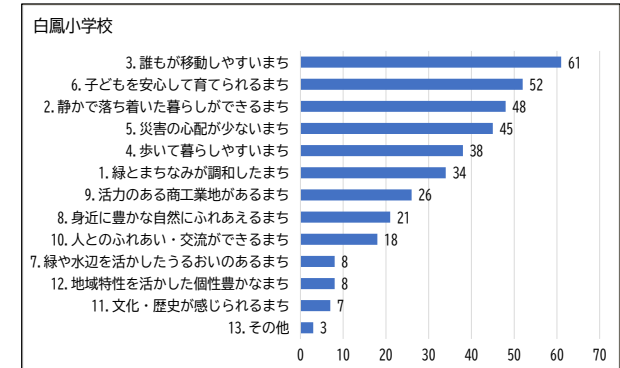
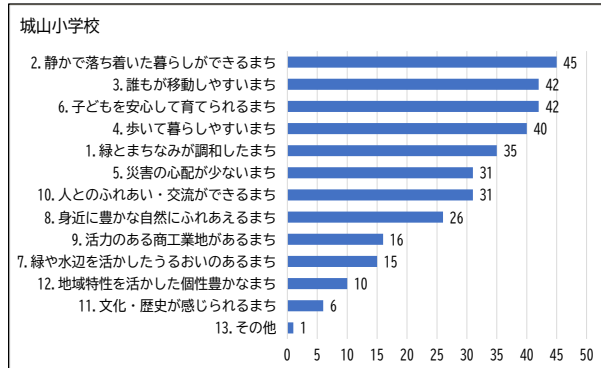
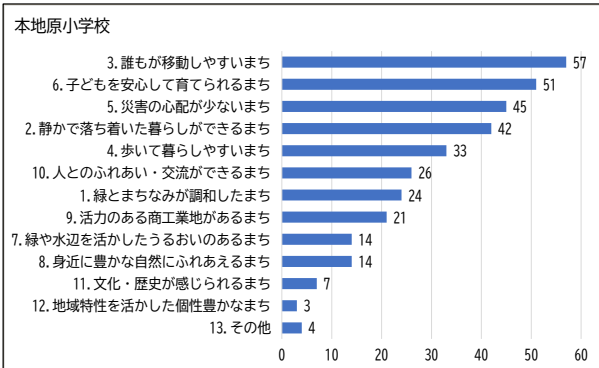
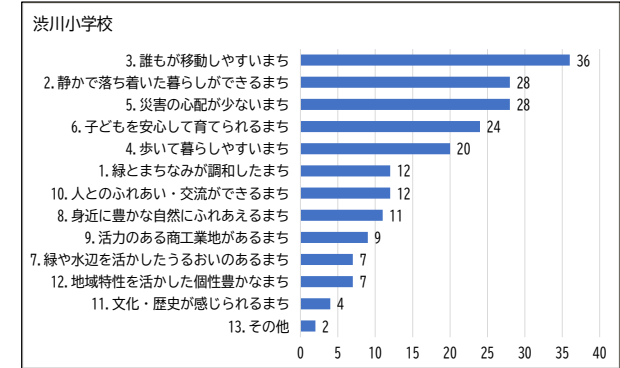
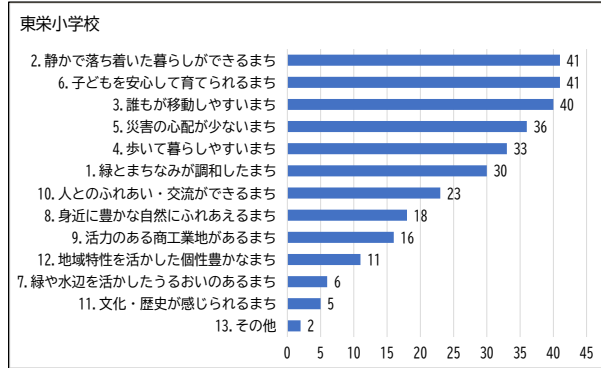
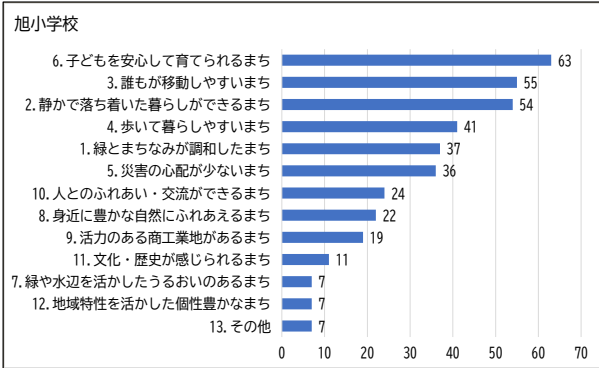
(参考) 総合計画策定に係る市民アンケート調査「10年後どのようなまちになっているとよいか」

「鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち」が最も多く、次いで「健康でいきいきと暮らせるまち」が多くなっている。

双方のアンケートにおいて、快適な移動や交通利便性の向上を求める結果となっている。



10～20年後における、地域の将来の姿（小学校区別）

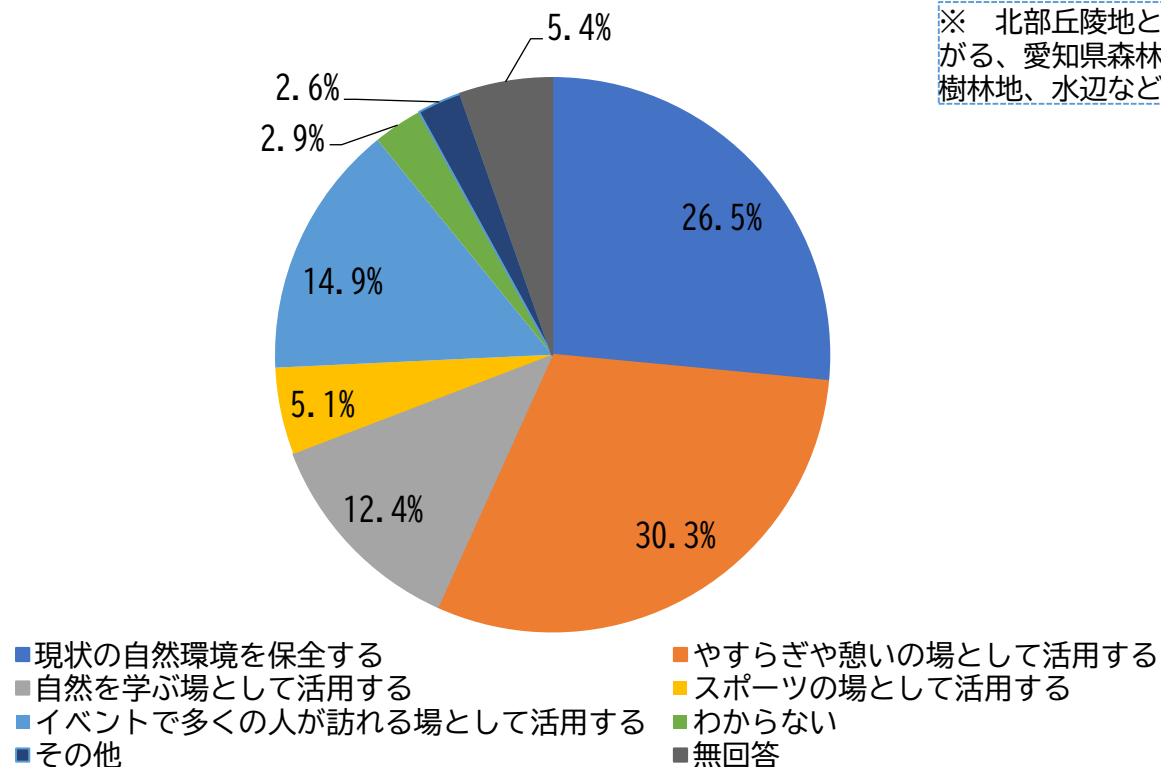


10～20年後における、地域の将来の姿（小学校区別）

- ・「誰もが移動しやすいまち」は、渋川、本地原、白鳳小学校区で回答数が最も多く、他の小学校においても、上位4項目に含まれている。
- ・「子どもを安心して育てられるまち」は、旭、東栄小学校区で回答数が最も多く、他の小学校においても、上位4項目に含まれている。
- ・「静かで落ち着いた暮らしができるまち」は、東栄、城山、瑞鳳、旭丘小学校で回答数が最も多く、他の小学校区においても、上位5項目に含まれている。
- ・「災害の心配が少ないまち」は、三郷小学校区で回答数が最も多く、他の小学校区においても、上位6項目に含まれている。
- ・「歩いて暮らしやすいまち」は、三郷小学校区では三番目に回答数が多く、他の小学校区においても、上位6項目に含まれている。

北部丘陵地のあり方

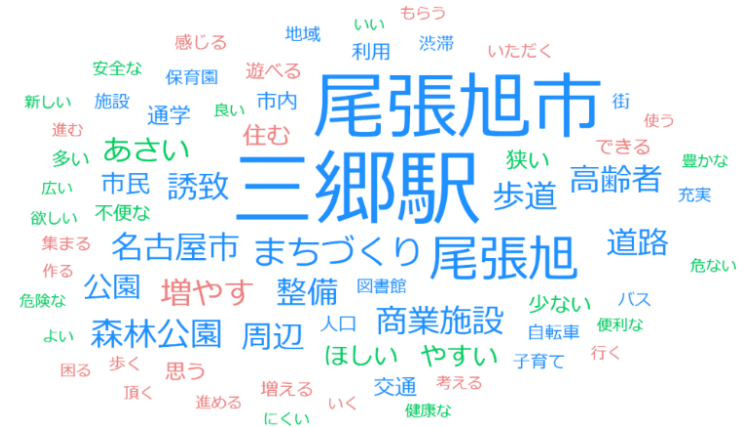
これからの北部丘陵地について、どのような使われ方がされるのが望ましいかを1つ選択



市北部の丘陵地は、「やすらぎや憩いの場として活用する」が最も多く、次いで「現状の自然環境を保全する」、「イベントで多くの人が訪れる場として活用する」が選ばれている。

まちづくり全般についての意見や提案（自由記述）

公共交通について		子育て支援について	
コミュニティバスについて	35	子育ての支援や環境について	17
公共交通について	26	学校教育について	8
鉄道の高架化や増便などについて	16	児童福祉や病児保育について	4
駅やバス停などの公共交通関連施設について	9	中学校区について	3
タクシーについて	5	児童クラブや学童について	2
公園や緑地について		高齢者福祉について	
公園、緑地や市民農園、遊歩道などについて	53	高齢者の生活について	14
ため池や河川などの水辺環境について	14	高齢者の活躍について	4
自然や農地、緑の保全や素晴らしさについて	13	高齢者福祉について	3
道路や歩道について		地域や市民の交流について	
歩道や通学路について	42	祭りやイベントについて	24
道路や交差点の改良について	25	地域や市民の交流について	16
渋滞や通過交通について	24	町内会や自治会について	6
道路整備について	19	市民活動やボランティア活動について	4
道路の規制について	11	都市計画や政策、施策について	
自転車専用レーンについて	9	防犯、防災について	31
インフラについて		その他計画や政策、施策について	30
上下水道などのインフラ整備について	6	行政サービスや運営について	23
駐車場・駐輪場整備について	3	市のPRについて	16
電線について	1	ゴミや環境美化について	14
各種施設について		人口について	8
商業施設について	35	騒音や野焼きなどやカラスなどについて	8
公共施設について	30	市HPや広報などの情報公開や周知について	5
保育園、幼稚園について	7	他市町を参考に	4
医療施設について	4	買い物支援について	2
開発や利活用について		他市町との合併	1
駅前や駅周辺の開発や活性化について	39	その他	
企業や大型商業施設などの誘致について	27	住みやすい、住み続けたい	8
その他開発について	8	今のままで良い	7
空き店舗や空き家対策について	6	感謝している	4
低未利用地や跡地の土地利用について	6	その他	3
市街化調整区域の開発について	5	アンケートについて	2



調査結果のまとめ

【定住意向】

- 7割以上の方が、今後も住み続けたいと考えている。
- 本市に居住したきっかけは「住宅を建てた・購入した」が約4割、「結婚・出産」が約2割であり、ファミリー層に選ばれている。

【これまでのまちづくりの評価と今後への期待】

- 現在の満足度は、「日常的な買い物のしやすさ」、「住まいの周辺の公園」など、暮らしやすさ・生活利便性が高く評価されている。
- 今後の重要度は、「治安に対する安心感」や「日常的な買い物のしやすさ」が求められている。
- 「自転車での移動のしやすさ」、「バスの使いやすさ」、「地震や火災に強い建物への改善」、「河川や下水の改修などによる水害対策」、「駅周辺での商業施設の確保」は、重要度が高いにも関わらず満足度が低く、今後の課題（より期待される項目）と捉えることができる。

【暮らしの質を高めるために必要なこと】

- 「日常的な買い物のしやすさ」、「医療や福祉施設の利用しやすさ」は、本市の「強み」と捉え、強みを伸ばす事で質の向上が図られる。
- 「バスの使いやすさ」、「駅周辺での商業施設の確保」は、本市の「弱み」と捉え、弱みを改善する事で質の向上が図られる。

【10～20年後における、地域の将来の姿】

- 「誰もが移動しやすいまち」や「子どもを安心して育てられるまち」、「静かで落ち着いた暮らしができるまち」を理想像として描いている。

【北部丘陵地のあり方】

- 市北部の丘陵地は、「やすらぎや憩いの場として活用する」が選ばれていることに加え、「現状の自然環境を保全する」や「イベントで多くの人々が訪れる場として活用する」などの項目が選ばれている。